



414
A 858



号外

親展

北京ノ政変其向ノ報告ニヨリ詳細由承
 知ノ事トハ考候モ其事件頗ル重大ニ渡ルヲ以
 テ北京天津上海ノ各埠況及當地ニ於ケル觀察ト
 ヲ合ヤ左ニ上申仕候
 北京政変ノ原因ハ種々アルヘキモ第一改進守
 旧兩派ノ衝突ハ一何人モ疑ハサル所ナリ又英
 露兩國ノ競争モ其ノ原因タルニ近シ又滿漢兩
 人種ノ猜忌心ノ如キモ多少ノ關係ナキ事ナリ
 ルヘシ成ハズ改革派慶親王ヲ擁シ大々的改
 革ヲ実行セトシタルヲ斯ル急劇ノ暴政ヲ
 見ルニ至リタリト是亦信ニ近シ去レハ暴政ノ
 原因ハ種々アルニ相違ナキモ其素因ハ恭親王

大正十一年四月
侯爵郵寄贈



ノ薨去ニシテ近因ハ伊藤侯爵ノ漫遊ナレカ如シ
若親王ノ薨去ニ進旧西派ニ對スル一壓カヲ除去シ
其平衡実カヲ強メヨリ又伊藤侯爵ハ素ヨリ外交
ノ界ニ於テ是レヲ知ヤセシナルモ急激ノ改革
ヲ実行セシトスル清帝ハ伊藤侯爵ノ有カレハ
助言ヲ進ムルニアラハ如何トシ改革ノ行ハルモ知
ルヘカラスト守旧派ノ畏懼シ其時期ヲ早メタルモ
事實ナレハ近シ

清帝年壯ニシテ進取ノ氣ニ富ムモ適切經歷
ノ顧問ナレカ加之其性勇敏ナル上、膠州灣ノ強
奪旅順大連灣強借ノ如キ愈清帝ヲ刺激シ
改革ノ見込付キ其重臣ニ對シ狂暴ニシテ
勤王ノアゲタルカ如キ一部ノ人望ヲ失ヒタルニ相率

ナレカ如シ

目下西太后政ヲ撰シ嫌疑者ヲ捕獲縛シ直ニ
斬ニ処スルモノ屈指ニ皇アラスト云フ其捕ヘタル
ハ清帝ノ者ニ死セトスルナリ其此レハ再率ヲ
計ラシトスルナレハ而シテハ驛動目下稍鎮靜
ニ傾キタルノ模様モアレハ其秩序ヲ恢復シ守旧
ノ党獨リ暴威ヲ振フ能ハサル時期ヲ見ル又
素キニアラサレトモ考候此度捕縛サレタル大
臣揚ハ張蔭桓ナリ是レ康有為ノ一時匿ヒタル
ノ重罪ニ該當スルナリト云フ張ハ死罪ニ當ルハ
一般ノ説ナレモ英國公使館ヨリ伊藤侯爵ニ相
談アリ伊藤侯爵ヨリ李鴻章ニ張ノ助命ヲ
申シシヨリト云ヘ或ハ其生命ヲ失フニ至ラサ

ルハキカ改革派嫌疑者中官等ノ上席ナルハ王照
ニシテ次ハ康有為、梁啓超等ナリ康梁ノ二人ハ
一時日本公使館ニ於テ康ハ又脱シテ天津、下リ
外國船(重慶号ニテラス)ニ搭シテ上海ニ至リ上海
ヨリ薩戸丸ニシテ日本ニ逃シテ梁ハ鄭天津領
事保護シテ天津ニ下ルリ再ニ支那華走船
ニ搭シ唐沽ニ下ルリ清國武官三人梁ノ乗リタ
ル華走船ニ至リ清國嫌疑者ノ引渡ヲ迫リタ
ル鄭領事ハ全ク日本人ノシノ乗入レシナリトテ船
内ノ探索ヲ拒シ時間ヲ費シタル間、船唐沽ニ着
シ直ニ大島艦ヨリ印シテ短艇来リタルハ清國
武官ハ狼狽シテ近島ノ小舟ヲ招キ之ニ乗シ逃
ルカ如ク去レリ蓋シ清國武官ノ引渡ヲ白リタ

ルハ康有為ノ乗組タルハ信シタルニ由ル梁ハ餘
リ重キク置カセシモノ、如シ然シテ康ノ全ク逃去
リタルヲ知りタル後ハ天津附近ノ警戒モ大
ニ緩シタル様ナリ又王照ハ田山良介(實姓ハ
山田ナリ)平山周(平山ハ玄洋社多クナリ)兩人
之ヲ勧誘シテ大島艦ニ伴ヒタルモノ、如シ而シテ
近々高雄艦上海ヨリ唐沽ニ廻航シ王、梁、兩
人ヲ乗セ日本ニ帰航スルニト考候
伊藤侯爵ハ九月十九日林代理公使大同代
儀士ヲ伴ヒ清帝ニ謁見シ時ハ慶親王同席
ナリシト云フ而シテ謁見ノ首ハ清國改革ニ付
充分言上アラシトシ清國ノ有力者ヨリ侯爵
ニ依頼セシタリ故ニ侯爵ハ充分腰ヲ据ヘ其

意見ヲ言上セシトシタニ僅カ十五分間ニシテ
スニトナレリ去レハ謁見ハ儀式的ニシテ其儀ヲ登
二十日ノ清帝出閉一件ハ謁見ノ當時既ニ確定
シ居リタニ又ハ又ハ清帝出閉ノ當時ハ英
國公使北帶河ノ辭者中ナリト方ハ英公使
ノ妨害ヲ多ク考ヘタニナリカ
ハ其兵カヲ頼シタニ又暗ニ其男奴主タニ露
國ヲ頼シタニカ如シ又佛ニ信深因縁アル裕禄
天ノ事件ニ關係アルカ如シ然レトモ直隸總督梁
禄ノ關係アリリ云フハ稍疑ハシキカ如シ又李鴻章
ハ張之洞ノ如ク金錢ノ濔白ナラザルハ在モアリテ露
ニ傾キ英ニ未キハ事實ナルカ如シサレハ李自身ハ
ノ詳ニアラザルカ

目下中主ヲ装フニケ度ノ事件ニ關係ナシハ稍疑
ナキニシテ李自身ハ伊及侯爵ヲ西太后ニ謁見セシメ
レト盡力シ伊藤侯ニ在レ任者ヲ西太后ニ推メ
在薦メ果シヨト頼シタニ如キ自身ヲ薦メヨト
目下決活ニハ清艦四隻又塘沽ニハ久シク定敷系
我大島艦ノ外天津附近他ノ外國軍艦ナキニ
ケ事件以來英艦ハ時ニ決活附近ヲ偵察シ一
時決活ニ英艦七隻モ集居シタニモリサハアリテ英
艦ハ口シアル号ノ如キ十餘自來常地ニ碇泊シ露
國皇族及露國東洋艦隊副司令官薩サヘガ
地ノホタルニ久シク止宿シ露ノ河ナラシ沈着シ

装フ如平元又多あり、消息十年、アラスカト、考候
守田洲中ニシテ名ノ翁同敵ノ目下蘇州ニ見
引レ此度ノ事件ニ與ラセシ如平又一奇觀ナリ
清帝、幽閑又ハ毒殺信傳事アリ、判然ト然
氏幽閑ト上毒殺サレタハ事實ニ付シ
清國ノ事情常ニ真ノ事實ヲ知ラ難シ況ニヤ事
唐突ニ起リ混雜ノ際ナレハ毒アリ正確ノ事實
ヲ知ルヘカラスルモ凡以上ノ推測ニシテ大過ナラズ
カノ事案アリテ相成テ、望外ノ仕合ニ付
唐美敬具

明治廿一年九月廿九日

芝罘郵政局長高垣徳次
通信大臣林有造 殿

号外

親展

昨廿九日露艦六隻ハ陸兵五百名ヲ率ヒ山東
省石島湾ヲ占領シ、由同地ハ威海衛湾
ノ背後ニ位シ威海衛ヨリ十八里ニシテ膠州湾
ヨリニ遠カラスト考テ又同日露艦数隻ハ陸
兵六百名ヲ率ヒ、嶗子窩近傍ニ向テ是レ由
右及報告候敬具

明治廿一年九月廿日

芝罘郵政局長高垣徳次

通信大臣林有造 殿

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十

